

デザインマンホール蓋の広報効果研究

地域共創学部
地域づくり学科
講師
佐藤 忠文



研究シーズの紹介

イラストやキャラクターが描かれたマンホール蓋を見たことはありませんか？それらはデザインマンホール蓋と呼ばれています。

このデザインマンホール蓋は下水道事業の広報活動のために生まれました。近年、インフラの老朽化が大きな社会問題になり、下水道事業も同様の状況にあります。解決には、

下水道インフラの必要性を改めて市民が理解し、その維持管理費用等に納得する必要があるため、下水道事業に関する広報活動の重要性が高まっています。

しかしながら、これまでその広報効果は十分検証されてきませんでした。そこで本研究は、大学生の卒業研究の一環としてデザインマンホール蓋の視認率等の調査を進めています。



効果を見える化

- デザインマンホール蓋がどれだけ視認されているかを数値化します。
- 下水道業界初の調査で効果の見える化に貢献します。



写真（上）：視認率調査等の様子

およそ14,000人が来場した「第10回マンホールサミットin所沢」において、学生たちが初の学生登壇者として600人超を前に講演しました。これらの取り組みが評価され、下水道広報プラットフォーム主催の「GKP広報大賞2022」で準グランプリを受賞しました。

写真（下）：マンホールサミット登壇時の様子



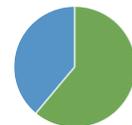
これまで北九州市内及び佐賀市内にてデザインマンホール蓋の視認率調査と歩行者へのアンケート調査を実施しています。併せてマンホール蓋メーカー様や自治体様などへヒアリング調査を進めています。

期待される活用シーン

- デザインマンホール蓋を設置しただけで、効果は出ているのだろうか？（例：自治体様）



デザインマンホール蓋がどれだけ視認されるかを数値化して提示します。



効果が
見える！

- もっと若者に下水道をはじめインフラの仕事に注目してもらいたい。（例：メーカー様）



大学生と意見交換や調査等を行い、より良い方法を検討できます。



若者に
刺さる！



その他の研究テーマ

・掲示板・回覧板に関する研究、自治体広報写真に関する研究